

周知の埋蔵文化財包蔵地内での民間開発等による93条の届出（記入例）

第 号
令和〇年〇月〇日

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇番地

氏名等 株式会社△△開発 代表取締役 △△△△ 《押印は不要》

埋蔵文化財発掘の [届出] ・ 通知] について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のために発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）の規定により、下記のとおり [届出] ・ 通知] します。

記

93条第1項 ・ 94条第1項 (〇で囲む)

1 所在地	佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇字 〇〇 〇〇番地・〇〇番地		
2 面積	〇〇〇〇㎡	《筆数が多い場合は、別紙を作成してください。》	
3 土地所有者	氏名等：〇〇〇〇 《所有者が多い場合は、別紙を作成してください。》		
	住 所：佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇番地		
4 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺 遺跡の種類、名称、時代は文化財係に確認してください。		
遺跡の名称	〇〇遺跡	員数	《記入不要》
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他 ()		
5 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 ダム 学校 住宅 工場 その他の建物 () 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ガス 電気 水道 農業関連 土砂採取 観光開発 遺跡整備 その他の開発 ()		
工事の概要	例) 表土を 20 cm除去後、北側を最大 80 cm削平し、南側を 1.5m埋め立てて整地する。基礎は 30 cmの床掘を行ない、ベタ基礎で木造2階建ての住宅 (〇㎡) を1棟建築する。 ※土地の造成・整地、建築・構造物の基礎・構造の具体的数値を記載して下さい。		
6 工事主体者	氏名等：株式会社△△開発 代表取締役 △△△△ 最上段の氏名等（届出者）と同一となります。		
	住 所：佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇番地		
7 施工責任者	氏 名：株式会社〇〇建設 代表取締役 〇〇〇〇 決まってない場合は「未定」と記入		
	住 所：〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地		
8 着手予定時期	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	9 終了予定時期	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
10 参考事項	上旬・中旬・下旬も可		上旬・中旬・下旬も可

※ 指導事項 発掘調査 工事立会 慎重工事 その他 ()

注 ※の欄は記入しないでください。

文化財保護法第93条（周知の埋蔵文化財包蔵地内での民間開発等）による届出文書作成時の注意事項

※届出文書は2部（県送付用と市保管用）提出して下さい。押印は不要です。

※添付図面についてはホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。

【氏名等】

届出者の氏名等を記入して下さい。機関・団体の場合は、代表者名を記入して下さい。押印は、不要です。

【1 所在地】

佐賀県から記載し、町名・字名・地番を記入して下さい。筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。分筆前の場合は「〇〇番地の一部」と記入して下さい。

【2 面積】

土木工事等の面積（開発対象面積）を記入して下さい。（分筆する場合は、分筆した後の土木工事等の面積を記入して下さい）

【3 土地所有者】

複数の場合は、枠内に下記のように記入するか、筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。

3 土地所有者	氏名等：〇〇〇〇（××××番地）	△△△△（****番地）
	住 所：伊万里市立花町 0000 番地 1	伊万里市松島町 00 番地 1

※所有者が複数の場合は、各々の所有者が所有する土地の番地を記載してください。

【4 遺跡の種類・遺跡の名称・遺跡の現状・遺跡の時代】

文化財係で確認され、必ず記入して下さい。「遺跡の現状」は、現状の地目を記入して下さい。該当するものを「○で囲む」もしくは 囲み文字 で記載して下さい。

裏面へ⇒

【5 工事の目的】

該当するものを1つだけ「○で囲む」もしくは **囲み文字** で記載して下さい。

【工事の概要】

記入例：「表土を 20 cm除去後、北側を最大 80 cm削平し、南側を 1.5m埋め立てて整地する。基礎は 30 cmの床掘を行ない、ベタ基礎で木造 2階建ての住宅（○㎡）を 1棟建築する。」

※土地の造成や整地、建築物や構造物の基礎構造の具体的数値を記載して下さい。

【6 工事主体者】

最上段の「氏名等」（届出者）と同一者となります。機関・団体の場合は代表者名を必ず記載して下さい。

【7 施工責任者】

工事の実務を行なう者です。施行業者名を記入して下さい。決まってない場合は「未定」で構いません。

【8 着手予定時期】

文化財保護法第 93 条では工事着手 60 日前の届出を求めています。ご留意下さい。「○月上旬」「○月中旬」「○月下旬」でも構いませんので、必ず記入して下さい。

【9 終了予定時期】

「○月上旬」「○月中旬」「○月下旬」でも構いませんので、必ず記載して下さい。

【添付図面】

位置図（1:25,000 程度の A 4 判） 地形図（1:5,000～1:10,000 程度の A 4 判）

字図 計画平面図（敷地全体図） 造成平面図 造成断面図 基礎矩計図などです。

※字図以降の図面は、可能であれば A 3 判以内でお願いします。

※字図・計画平面図（敷地全体図）等には、工事範囲がわかるように朱書きしてください。

※計画平面図（敷地全体図） 造成平面図 造成断面図 基礎矩計図には縮尺を明記して下さい。

図面を縮小した場合は縮小後の縮尺を明記して下さい。

※ホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。

周知の埋蔵文化財包蔵地内での公共事業等による94条の通知（記入例）

〇〇〇第〇〇〇号
令和〇年〇〇月〇〇日

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県 伊万里市 立花町 1355 番地 1

氏名等 伊万里市長 〇〇〇〇 <<押印は不要>>

埋蔵文化財発掘の [届出 ・ 通知] について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のために発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）の規定により、下記のとおり [届出 ・ 通知] します。

記

93条第1項 ・ 94条第1項 (〇で囲む)

1 所在地	佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇字 〇〇 〇〇番地・〇〇番地		
2 面積	〇〇〇〇㎡	<<筆数が多い場合は、別紙を作成してください。>>	
3 土地所有者	氏名等：〇〇〇〇 <<所有者が多い場合は、別紙を作成してください。>>		
	住 所：佐賀県 伊万里市 〇〇町 〇〇番地		
4 遺跡の種類	散布地 集落跡 目塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺	遺跡の種類、名称、時代は文化財係に確認してください。	
遺跡の名称	〇〇遺跡	員数	<<記入不要>>
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野	その他 ()	
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世	その他 ()	
5 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 ダム 学校 住宅 工場 その他の建物 () 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ガス 電気 水道 農業関連 土砂採取 観光開発 遺跡整備 その他の開発 ()		
工事の概要	例) 表土を20cm除去後、北側を最大80cm削平し、南側を1.5m埋め立てて整地した後に、幅〇m深さ〇m長さ〇m掘削を行ない、〇〇〇を埋設する。 ※土地の造成・整地、建築・構造物の基礎・構造の具体的数値を記載して下さい。		
6 工事主体者	氏名等：伊万里市長 〇〇〇〇 最上段の氏名等（通知者）と同一となります。		
	住 所：佐賀県 伊万里市 立花町 1355 番地 1		
7 施工責任者	氏 名：(株)〇〇建設 代表取締役 〇〇〇〇 決まってない場合は「未定」と記入		
	住 所：〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地		
8 着手予定時期	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	9 終了予定時期	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
10 参考事項	上旬・中旬・下旬も可		上旬・中旬・下旬も可
※ 指導事項	発掘調査 工事立会 慎重工事 その他 ()		

注 ※の欄は記入しないでください。

文化財保護法第94条（周知の埋蔵文化財包蔵地内での公共事業等）による 通知文書作成時の注意事項

※通知文書は2部（県送付用と市保管用）提出して下さい。押印は不要です。

※添付図面についてはホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。

【氏名等】

通知者の氏名等を記入して下さい。機関・団体の場合は、代表者名を記入して下さい。押印は、不要です。

【1 所在地】

佐賀県から記載し、町名・字名・地番を記入して下さい。筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。分筆前の場合は「〇〇番地の一部」と記入して下さい。道路などで地番が無い場合は、字名を記載し「〇〇番地の地先」などの表記で場所が特定できるようにして下さい。

【2 面積】

土木工事等の面積（開発対象面積）を記入して下さい。（分筆する場合は、分筆した後の土木工事等の面積を記入して下さい）

【3 土地所有者】

複数の場合は、枠内に下記のように記入するか、筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。

3 土地所有者	氏名等：〇〇〇〇（××××番地）	△△△△（****番地）
	住 所：伊万里市立花町 0000 番地 1	伊万里市松島町 00 番地 1

※所有者が複数の場合は、各々の所有者が所有する土地の番地を記載してください。

【4 遺跡の種類・遺跡の名称・遺跡の現状・遺跡の時代】

文化財係で確認され、必ず記入して下さい。「遺跡の現状」は、現状の地目を記入して下さい。該当するものを「○で囲む」もしくは 囲み文字 で記載して下さい。

裏面へ⇒

【5 工事の目的】

該当するものを1つだけ「○で囲む」もしくは **囲み文字** で記載して下さい。

【工事の概要】

記入例：「表土を 20 cm除去後、北側を最大 80 cm削平し、南側を 1.5m埋め立てて整地した後に、幅○m深さ○m長さ○m掘削を行ない、○○○を埋設する。」

※土地の造成や整地、建築物や構造物の基礎構造の具体的数値を記載して下さい。

【6 工事主体者】

最上段の「氏名等」（通知者）と同一者となります。機関・団体の場合は代表者名を必ず記載して下さい。

【7 施工責任者】

工事の実務を行なう者です。施行業者名を記入して下さい。決まってない場合は「未定」で構いません。

【8 着手予定時期】

文化財保護法第 94 条では計画策定段階での通知を求めています。ご留意下さい。「○月上旬」「○月中旬」「○月下旬」でも構いませんので、必ず記入して下さい。

【9 終了予定時期】

「○月上旬」「○月中旬」「○月下旬」でも構いませんので、必ず記載して下さい。

【添付図面】

位置図（1:25,000 程度の A 4 判） 地形図（1:5,000～1:10,000 程度の A 4 判）

字図 計画平面図(敷地全体図) 造成平面図 造成断面図 基礎矩計図などです。

※字図以降の図面は、可能であれば A 3 判以内でお願いします。

※字図・計画平面図(敷地全体図)等には、工事範囲がわかるように朱書きしてください。

※計画平面図(敷地全体図) 造成平面図 造成断面図 基礎矩計図には縮尺を明記して下さい。

図面を縮小した場合は縮小後の縮尺を明記して下さい。

※ホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。